

中日本高速道路株式会社 道路脱炭素化推進計画

脱炭素化の推進に向けて

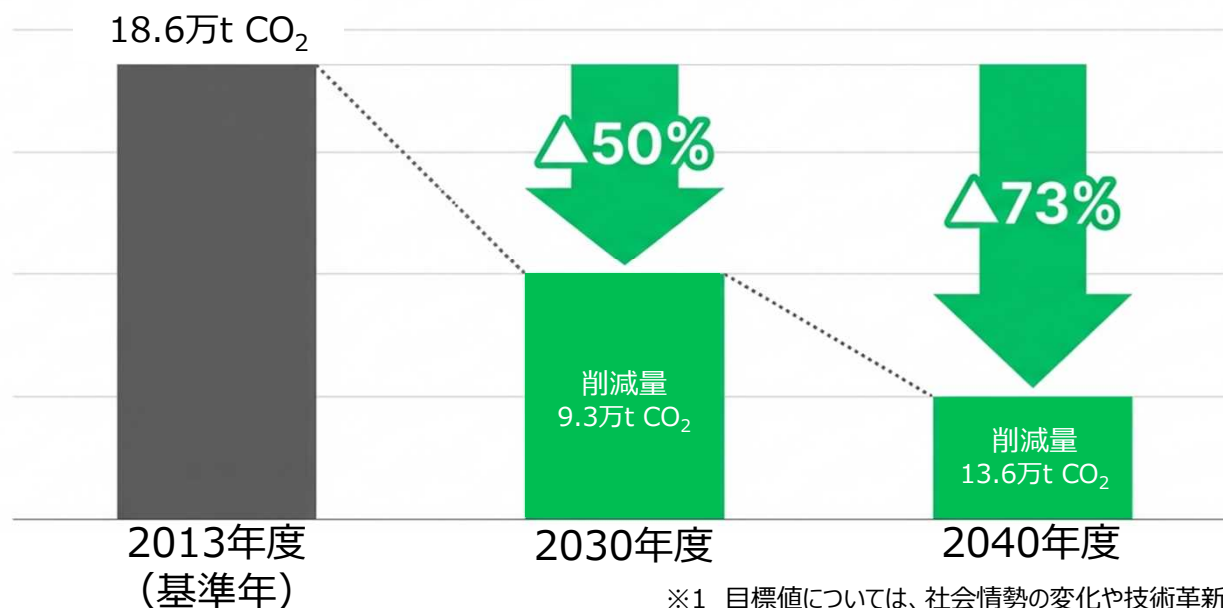
地球温暖化に伴う気候変動の影響により、自然災害の激甚化・頻発化等が懸念され、気候変動対策の推進は地球規模での対応が求められる喫緊の課題となっています。

NEXCO中日本は、『環境方針』において環境に関わる経営上の重点施策のひとつとして、地球温暖化の抑制を掲げるとともに、SSEG（安全・社会・環境・ガバナンス）をCSR活動の重点テーマとした事業活動を推進しています。

さらに、国内外の動きを踏まえ、サプライチェーンにおけるCO₂の排出量削減を推進するため、2050年の脱炭素化の実現を目指し、新たに「中日本高速道路株式会社道路脱炭素化推進計画」を2026年3月に策定しました。

NEXCO中日本グループは、これからも事業活動を通じて脱炭素化をはじめとする環境保全へ貢献してまいります。

「道路管理分野（Scope1・2）」全体のCO₂削減目標※1



※1 目標値については、社会情勢の変化や技術革新の進展等に基づき、柔軟に調整・見直しを行う

「道路管理分野（Scope 1・2）」CO₂削減に向けた主な取り組み

	2013年度	2030年度目標	2040年度目標
道路関係車両の電動化	2%	100%※2	100%※2
道路・トンネル照明のLED化	54%	100%	100%
再生可能エネルギー活用 (電力調達割合)	0%	60%	80%

※2 代替可能な電動車がない場合を除く

「道路整備分野（Scope 3 上流）」のCO₂削減に向けた主な取り組み

	2013年度	2030年度目標	2040年度目標
■ 中温化アスファルトの導入	—	6%	14%
■ 環境配慮型コンクリートの導入	—	適用拡大	更なる利用促進

「道路利用分野（Scope 3 下流）」のCO₂削減に向けた主な取り組み

	2013年度	2030年度目標	2040年度目標
■ 休憩施設におけるEV急速充電器の整備	38口	2000 ～ 2500口※3	未定
■ ダブル連結トラック駐車マスの整備	—	計画調整中	未定

※3 記載口数は、経済産業省の「充電インフラ整備促進に向けた指針」に基づくNEXCO3会社の合計数を記載（IC付近の高速道路外充電器活用を含む）

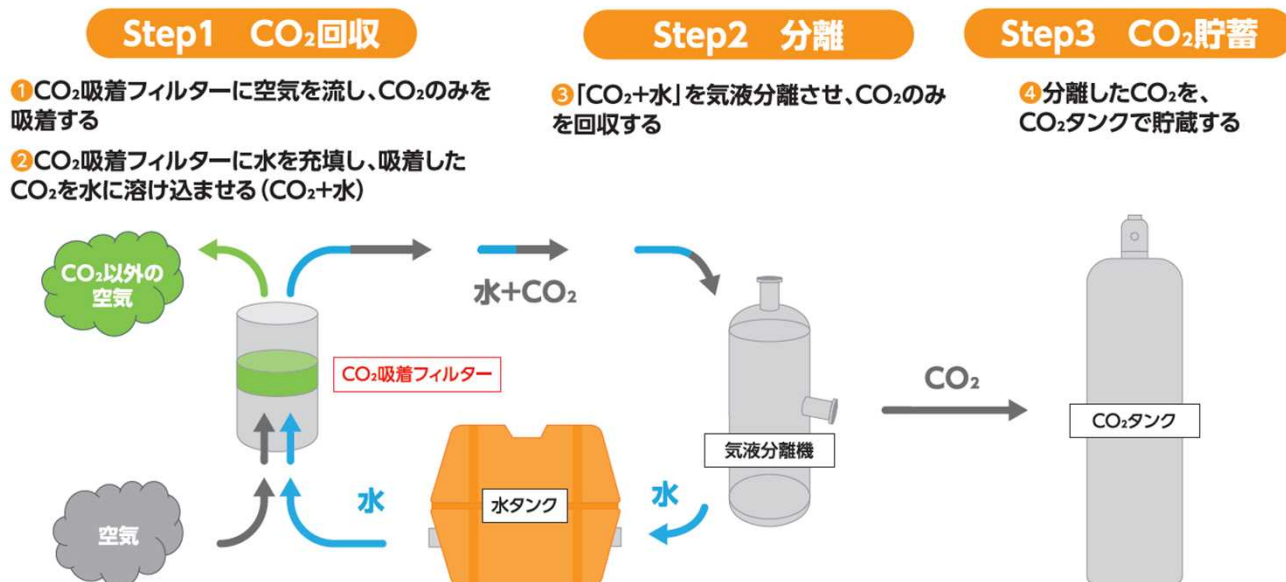
その他のCO₂削減に向けた主な取り組み【吸収源】

	2013年度	2030年度目標	2040年度目標
道路樹林化（中低木）	—	約10万本 ^{※4}	—
DAC（直接空気回収技術）の活用	—	1基 （実証実験）	未定

※4 2026から2030年度までの新東名高速道路など新規開通

■ DAC（直接空気回収技術）について

大気中のCO₂を効率的・低エネルギーで回収できる「湿度スイング法」を用いて高速道路上でCO₂回収システムの構築及び実証実験の実施しています。



現地に設置したCO₂回収装置